

財政収支(1-12月)

(1) 1-12月の歳入は前年同期比36.8%増、税収は同39.8%増。歳出は前年同期比32.9%増。
 (2) 結果として1-12月の財政収支は1,922.44億リラの赤字(前年同期比9.7%減)、プライマリーバランスは113.91億リラの赤字(同72.4%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2020年1-12月(A)	2021年1-12月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	10,284.46	14,073.99	36.8%
税収	8,332.51	11,648.09	39.8%
所得税	1,588.42	2,196.32	38.3%
法人税	1,050.57	1,779.70	69.4%
付加価値税(国内及び輸入)	2,307.61	3,853.29	67.0%
特別消費税	2,072.83	2,053.92	▲0.9%
その他税収	1,313.08	1,764.86	34.4%
税外収入等	19.52	24.26	24.3%
歳出(b)	12,037.37	15,996.42	32.9%
人件費	2,877.85	3,462.58	20.3%
物品及びサービスの購入	969.71	1,301.04	34.2%
経常移転	4,980.63	6,266.64	25.8%
資本支出	937.42	1,309.26	39.7%
支払利子(c)	1,339.62	1,808.52	35.0%
その他歳出	932.14	1,848.38	98.3%
財政収支(a-b)	▲1,752.92	▲1,922.44	▲9.7%
基礎的財政収支(a-(b-c))	▲413.29	▲113.91	72.4%

経常収支(1-11月)

(1) 1-11月の経常収支は、108.16億ドルの赤字(前年同期は320.96億ドルの赤字)。
 (2) 1-11月の貿易収支(物品)は239.76億ドルの赤字で前年同期から赤字幅縮小、旅行収支は178.56億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

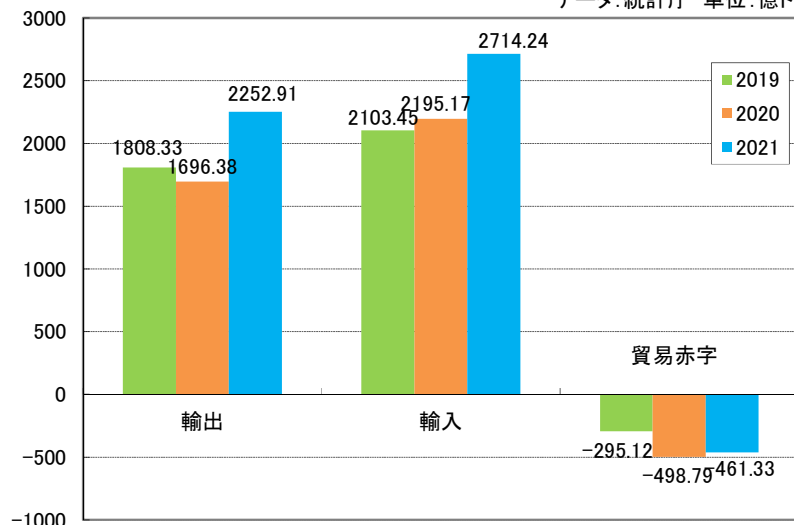
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2020年1-11月(A)	2021年1-11月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲320.96	▲108.16	66.3%
貿易収支(物品)	▲344.99	▲239.76	30.5%
サービス収支	109.50	234.39	114.1%
旅行収支	85.63	178.56	108.5%
第1次所得収支	▲87.62	▲111.09	▲26.8%
第2次所得収支	2.15	8.30	286.0%
労働者送金	1.56	1.87	19.9%
資本移転等収支	▲0.29	▲0.65	▲124.1%
金融収支	▲367.34	88.13	124.0%
直接投資	▲34.75	▲62.82	▲80.8%
証券投資	128.27	▲27.71	▲121.6%
その他投資	▲74.90	▲192.45	▲156.9%
外貨準備	▲385.96	371.11	196.2%
誤差脱漏	▲46.09	196.94	527.3%

貿易収支(1-12月)

(1) 1-12月の輸出額は2,252.91億ドル(前年同期比32.81%増)、輸入額は2,714.24億ドル(同23.65%増)となり、この結果、貿易収支は461.33億ドルの赤字(同7.51%赤字幅縮小)となった。
 (2) 1-12月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.3%(前年同期は41.3%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は31.5%(前年同期は33.4%)となっている。

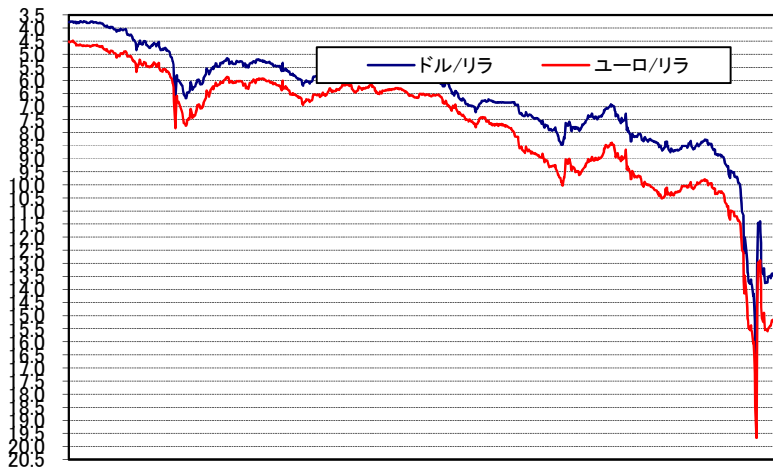
データ:統計庁 単位:億ドル



為替(12月)

12月の消費者物価指数が36.08%と市場予想を上回る数値だったものの、為替レート保護トルコリラ定期預金の影響や20日の金融政策委員会で政策金利が据え置かれたこともあり、為替の変動は限定的であった。月末は1ドル=13.40リラ(前月末比0.6%安)、1ユーロ=14.96リラ(同0.8%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ

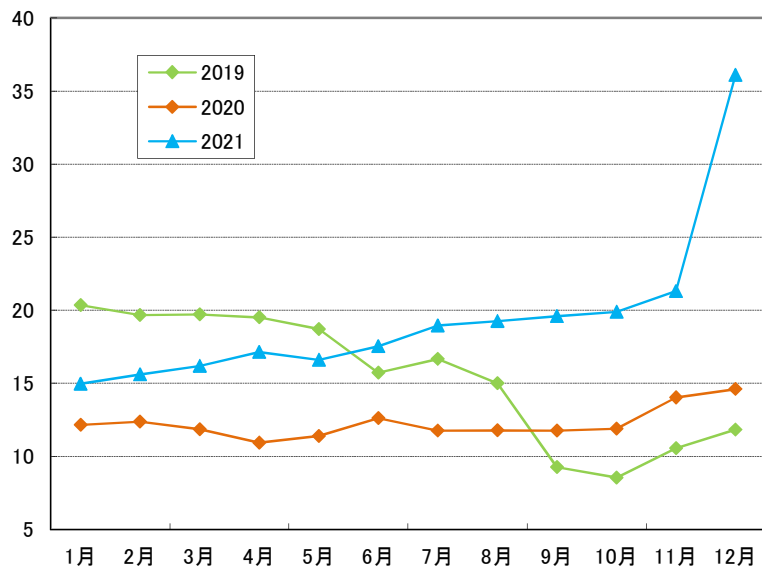


18/1 18/4 18/7 18/10 19/1 19/4 19/7 19/10 20/1 20/4 20/7 20/10 21/1 21/4 21/7 21/10 22/1

消費者物価上昇率(12月)

- (1)12月の消費者物価は前年同月比36.08%増、前月比13.58%増。
- (2)項目別にみると、前年同月比53.66%及び前月比28.49%で輸送が最も上昇した。
- (3)2021年末のインフレ率の中銀目標(10/28時点)は前年同月比18.4%。
- (4)国内生産者物価指数は前年同月比79.89%増、前月比19.08%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

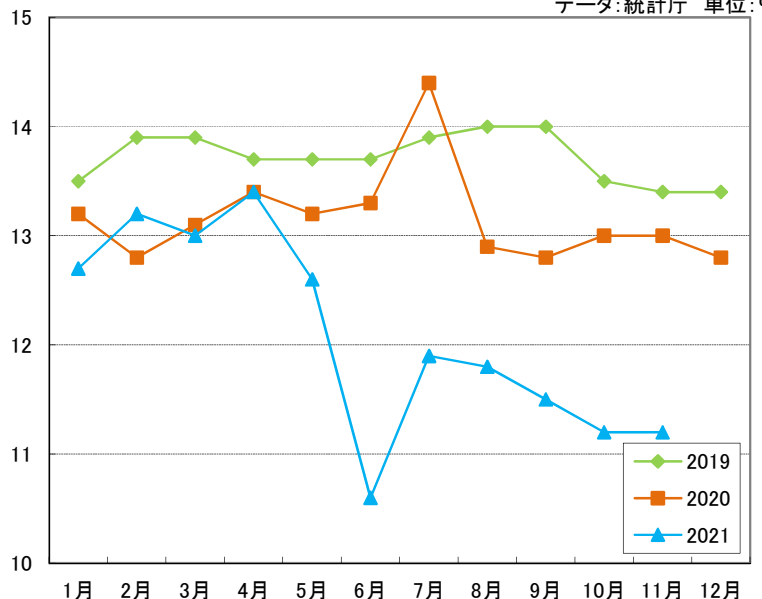


1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

失業率(11月)

- (1)11月の失業率(季節調整後)は11.2%。前年同月から1.8%減少となった。
- (2)労働力人口は3363.2万人、就労者数は2985.5万人、失業者数は377.7万人。
- (3)男性の失業率は9.6%、女性は14.5%。若年層(15-24歳)の失業率は22.3%となっている。

データ:統計庁 単位:%

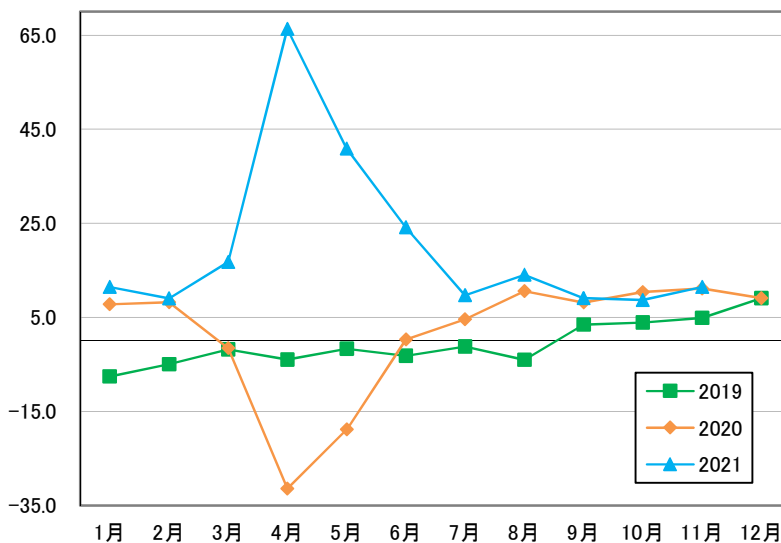


1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

鉱工業生産(11月)

(1)11月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)11.4%増、前月比(季節及び日数調整後)3.3%増。
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比12.0%増、資本財が同5.8%増、中間財が同14.4%増となった。

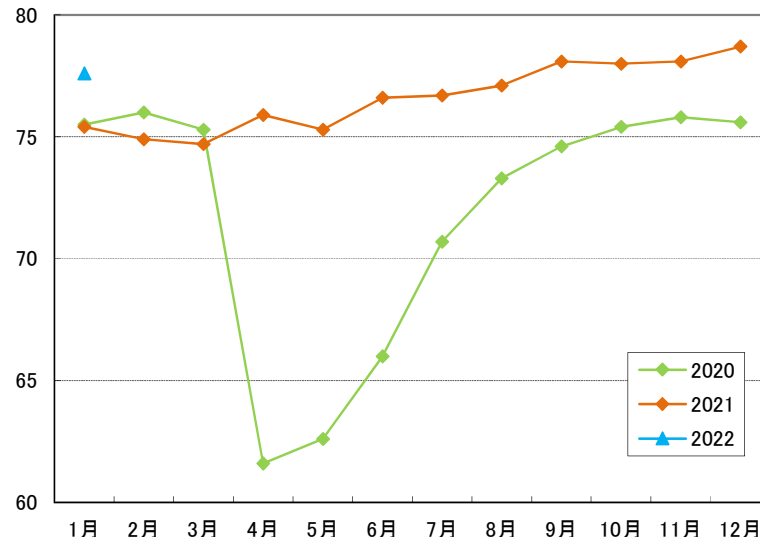
データ:中央銀行 単位:前年同月比(%)



設備稼働率(1月)

(1)1月の設備稼働率は77.6%となり、前年同月から2.2ポイント上昇し、前月から1.1ポイント低下。
 (2)製造業の分野別では、紙及び紙製品製造業(85.0%)が最も稼働率が高く、機械器具修理・設置業(67.2%)が最も低い稼働率であった。

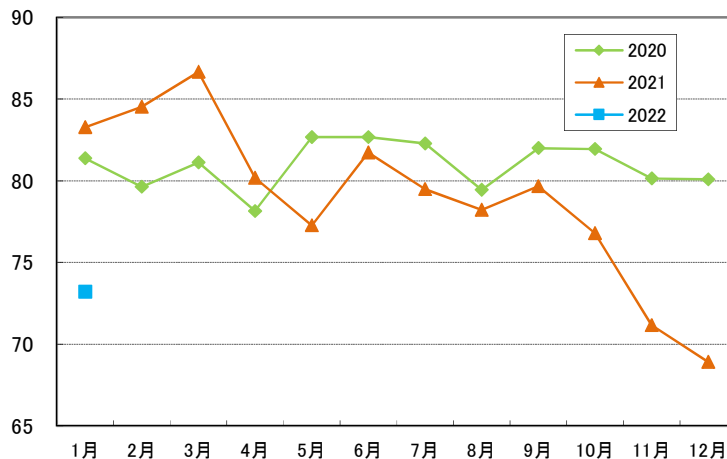
データ:中央銀行 単位:%



消費者信頼感指数(1月)

(1)1月の消費者信頼感指数(季節調整値)は73.2ポイントで、前月から4.3ポイント増加。
 (2)内訳では、「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から増加した。

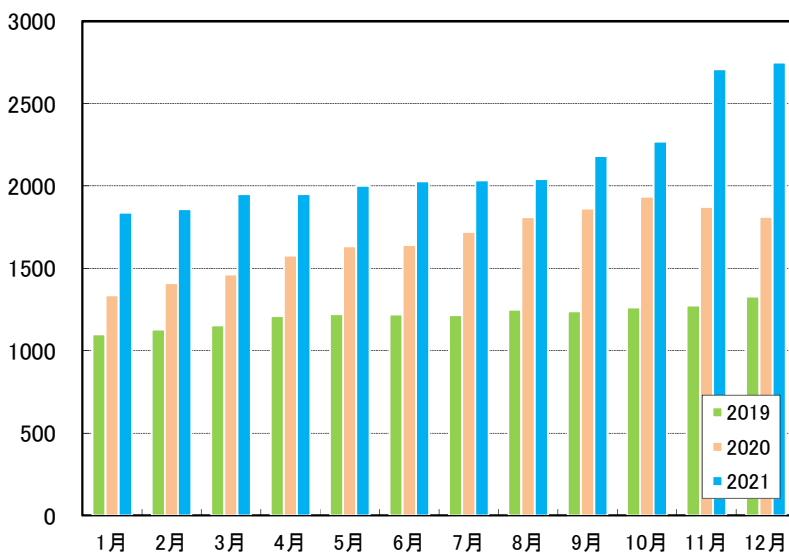
データ:統計庁 単位:ポイント



中央政府債務残高(12月)

(1)12月末時点での中央政府債務残高は2兆7,477億リラとなり、前月比1.5%増、前年同月比51.6%増となった。
 (2)また、国内債務比率は48.1%、自国通貨債務比率は34.0%(2020年末は43.8%)となっている。
 (3)なお、債務残高のうち円は1.6%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

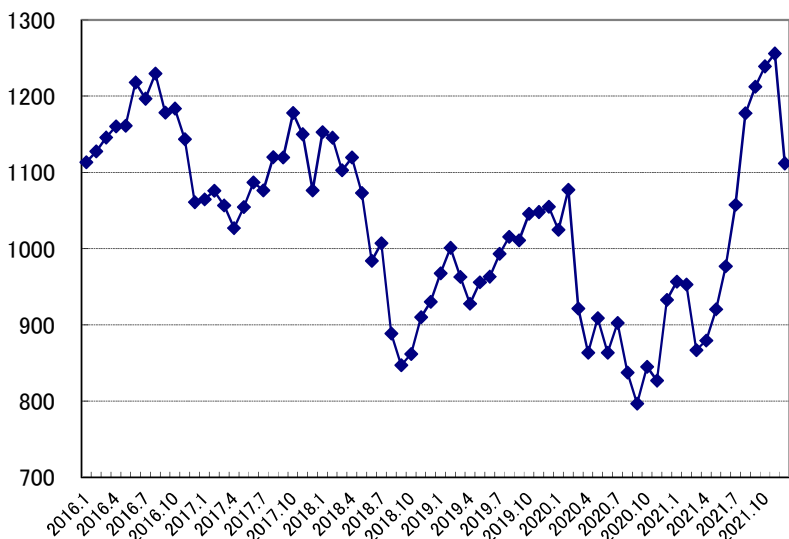
データ:財務省 単位:10億リラ



外貨準備高(12月)

(1)12月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,111.81億ドルとなった。
 (2)前月から144.06億ドル減少した。

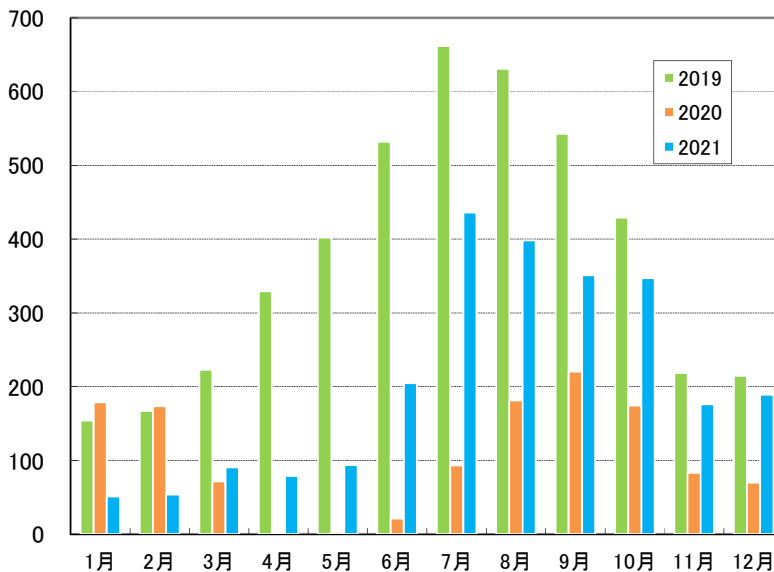
データ:中銀 単位:億ドル



外国人訪問者数(12月)

(1)12月の外国人訪問者数は1,892,520人で、前年同月比170.62%増。日本は893人であった(前年同月は346人)。
 (2)国別ではブルガリアが最も多く、265,929人で全体の14.05%を占め、以下、ドイツ(188,146人)、イラン(151,687人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

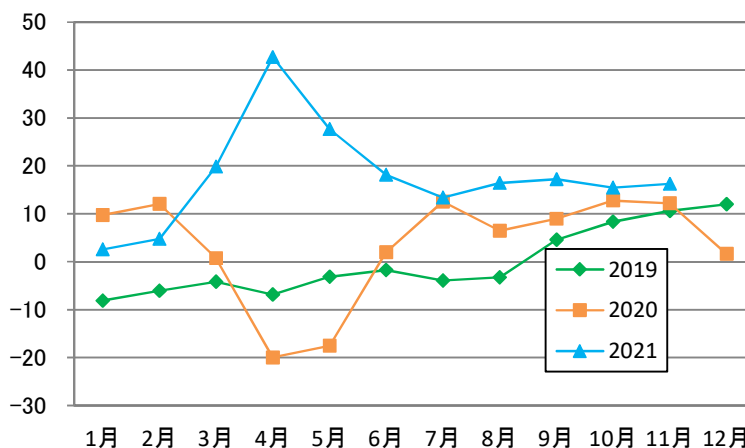


小売売上高(11月)

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

(1)11月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)16.3%増、前月比(季節及び日数調整後)1.3%増。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比8.8%増、繊維・衣料が同51.1%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同16.1%増、となった。

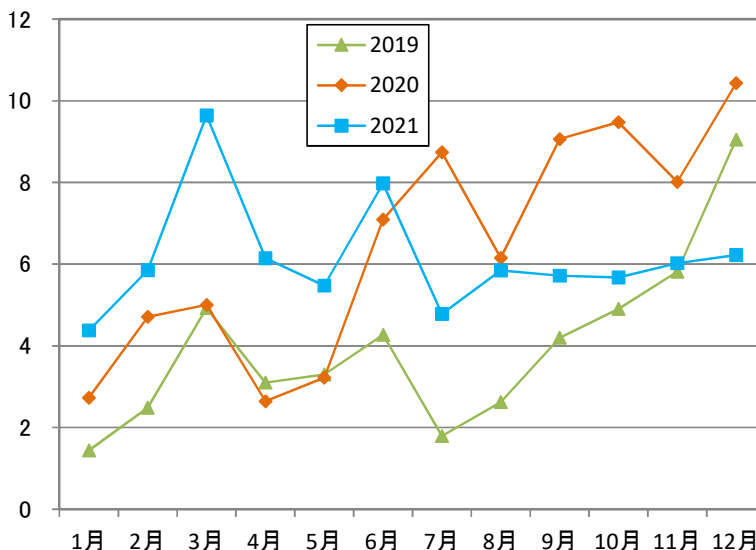


新車販売台数(12月)

データ:自動車販売協会 単位:万台

(1)12月の新車販売台数は62,243台で前年同月比40.32%減。

(2)12月の内訳は乗用車が43,559台(前年同月比46.0%減)、小型商用車が18,684台(同20.7%減)となった。



住宅販売戸数(12月)

データ:統計庁 単位:万戸

(1)12月の住宅販売戸数は226,503戸で前年同月比113.72%増となった。

(2)12月は新築が76,747戸(前年同月比108.0%増)、中古が149,756戸(同116.8%増)。

(3)12月の住宅ローンでの購入は45,260戸(前年同月比209.3%増)、その他が181,243戸(同98.4%増)。

